

# 柴犬ポポンタの猛暑対策2011

ポポンタくん(柴犬)6歳

飼い主/藤原さん(前田町)



たださえ暑い日本の夏。それがここ数年は記録的な暑さに見舞われ外で暮らしているイヌにはたまりません。ということで藤原宅のポポンタは昨年からは夏に限りお隣の花屋さんの店内に避暑することになりました。エアコンの効いた店内は快適そのもの。特によく冷えたタイルは火照った身体をジワッと冷やしてくれて最高!毎日花鏡園さんのオープンに合わせてポポンタの定位置までまっしぐら。ただ、その辺をかじったり壊したりしないかと心配でしたが、お世話になっている岡元夫妻には「ときどき存在も忘れてしまうほど静かにしていますよ。」とお褒めの言葉を頂戴しています。いい子にしているよポポンタ。もし、いたずらをして追い返されたら地獄の猛暑に逆戻りだぞと無事を祈る毎日です。

## さよならソナちゃん

1月に多頭飼育崩壊現場から保護。1ヶ月後に譲渡を行ったトイプードルのソナちゃんが亡くなりました。譲渡してからほんの5ヶ月しか経っておらず、新しい飼い主様には本当に申し訳なく思っております。実年齢が元の飼い主さんから聞いていたよりも上だったと思われること、保護するまでの間、心臓の疾患があることすら気づいて貰えていなかったこと、もっと早くから治療をしていたら、もう少し長生き出来たのではないかと悔やまれます。それでも晩年のほんの半年間だけでも温かい愛情に包まれて楽しく幸せに暮らせたことを思うと、せめてそれだけでもソナちゃんにしてあげられて良かったのかなあと思っています。ご協力頂いた皆様、本当にありがとうございました!天国のソナちゃん、どうぞ安らかに!



可愛い写真集も出来ました▶

## 「約束するからね ソナ」 松本 勇

ソナに初めて逢ったのは、今年の2月22日のこと。とても小さくて、舌がペロッと出たままのトイプードルのソナはダロス君のママに抱っこされて我が家へやって来ました。

動物愛護協会に保護されて、ボランティアのダロス君のおうちに預けられるまでの悲惨で可哀相な暮らしぶりや聞き、歯が1本もないこと、「心臓弁膜症」の持病があることも承知のうえで、うちの家族にしよう決めました。私も心臓の薬を毎日飲んでおりますので、せめてこれからはのんびりと養生させてあげたいと思ったのです。

芦屋川に行くと、散歩で出会う皆さんから「あら〜ソナちゃん、歩いているの」と声がかかりました。桜の頃には走ることもできるようになり、「お〜、ソナちゃん走ってる!元気がなったね〜」と感心され若葉の頃には随分と毛が増えてきたので、綺麗にトリミングしてもらったら「お〜、可愛くなったね〜」と大勢の人が喜んでくださいました。

我が家では、一年ごとのアルバムを作るつもりで、折々に写真を撮っていたのですが夏になりお揃いのアロハを着せ、浜辺を散歩しているところを撮ろうと思っていた矢先のこと、7月17日の夜、突然お星様の道へと旅立って行ってしまいました。

健気に力の限り生きた小さなソナが命をもって示してくれた「犬を飼うならちゃんと飼ってよ!!」というメッセージは確実に広げていきたいと心に決めております。

